

植物の苗を植える森再生プロジェクトの参加者たち



## 湘南国際村で プレ植樹祭1500人

23日に南足柄、秦野両市で開かれる第61回全国植樹祭に先立ち、サテライト会場の湘南国際村(横須賀市、葉山町)で2日、県や同市町などの森林再生プロジェクトが行われ、市民約1500人が5000本を植樹した。会場の同村「めぐりの森」地区は、経済情

勢の悪化で未整備のまま残ったエリア。緑化保全に計画変更して3月、県に無償譲渡された。

プロジェクトは、横浜国大名誉教授で地球環境戦略研究機関国際生態学センター長、宮脇昭氏が指導。苗の約半数は「進和学園」(平塚市)の施設の知的障害者が育てたという。参加者は斜面の1700平方メートルに常緑広葉

樹、落葉広葉樹の計20種以上の苗を植えた。

特設舞台での事前説明では、宮脇氏が松沢成文知事やかながわ環境大使の歌手、白井貴子さん、タレント・キヤスターの小林麻央さんらを指導。ユーモアを交えて会場を沸かせ「小さな苗がやがて木に育ち、大量の二酸化炭素を閉じこめる」と話した。

【田中義宏、写真も】